



2021年8月3日

各 位

会 社 名 株式会社プロルート丸光
代表者名 代表取締役社長 森本 裕文
(JASDAQ・コード：8256)
問合せ先 管理本部長 中原 秀和
(TEL 06-6262-0303)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

本日開催の取締役会において、2021年5月6日に公表した2022年3月期（2021年3月21日～2022年3月20日）の連結業績予想について、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年3月21日～2022年3月20日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,400	140	105	100	3.52
今回発表予想(B)	6,700	230	190	130	4.46
増減額(B-A)	300	90	85	30	
増減率(%)	4.7	64.3	81.0	30.0	
(ご参考)前年実績 (2021年3月期)	5,810	63	54	14	0.51

2. 修正の理由

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発出され、商業施設の営業時間短縮や外出自粛の影響による衣料品への消費低迷が大きく、また、前年のような衛生関連商品への大きなニーズもなかったため、既存総合衣料卸売事業は苦戦を強いられましたが、ワクチンの供給および集団接種の開始により、第3四半期以降は当初計画どおりの進捗を見込んでおります。また、インフルエンサーとコラボレーションしたカラタスシャンプーについては、好評を博しており、第2四半期以降に収益を見込める状況となっております。

加えて、2021年7月21日に公表した「簡易株式交付による株式会社マイクロブラッドサイエンスの子会社化の結果に関するお知らせ」で開示いたしましたとおり、株式会社マイクロブラッドサイエンス（以下、「MBS」といいます。）を連結子会社化することとなり、それに伴い、前回予想時には織り込んでいなかったMBSの業績を含めることとなりました。なお、MBSの業績に関しては、MBSが従前から取り組んでいる検査キットの販売、コンサルティング収入を主な収入源として計上を行っており、現在進行中であるヴァゼム社との「新型コロナウイルス治療薬の元となるモノクローナル抗体産生細胞株」に関するビジネスに関しては、精査中であるため、考慮に入れておりません。

以上の理由により、通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上